

参加費
無料

～AI技術の発展が 切り開く未来と知財～

AI技術の発展とその未来、
生成AIのマーケティングへの応用、
AI関連発明の出願状況及び登録事例に学ぶ知財戦略

日時 **2024年1月26日(金)**
13:30～17:00 (受付は12時30分より)

定員 **600名** (定員になり次第、締め切らせていただきます)

場所 **名古屋観光ホテル 3階「那古の間」**
名古屋市中区錦一丁目19-30
電話 052-231-7711

対象 **一般、学生、大学・企業の知財部門・研究者・技術者、
ベンチャー起業を目指す方、中小企業の経営者、
知的財産関係者**

日本弁理士会東海会は、東海地区における知的財産活動の充実・発展への貢献を使命の一つとして活動しています。「知的財産セミナー2024」は、日本弁理士会東海会(旧東海支部)の開設記念日(1997.1.31)を記念して開催する恒例の知財セミナーです。

近年、AI技術の進歩は目覚ましく、昨年発表されたchatGPTは世の中に大きな衝撃を与えました。ChatGPTを始めとする生成AIは、私たちの社会や仕事・ビジネスを大きく変えると感じられた方も多くいるのではないのでしょうか。特に、知財活動のような知識集約型の産業では、人間の知的労働力に頼る割合が大きいことから、その影響は計り知れません。第1部では、現在に至るまでの人工知能(AI)の進化の歴史を振り返ると共に、生成AI技術の仕組みを解説し、生成AIの未来について議論します。

第2部では、AI技術のマーケティング分野への応用について紹介します。ものづくり県である愛知県では、伝統的にものを作り、ものを売る産業が発展しています。よいものを作っても、それだけでは売れず、いかに売ることが重要となっています。マーケティングの目的は市場の創造であり、人間の知的創造活動の結集です。マーケティングの最新動向を紹介し、その未来について議論します。

第3部では、AI関連発明の出願状況及び登録状況を概観すると共に、登録された実例を紹介します。

これらの講演を通じて、皆様の関係する企業・団体における、現在そして将来の知財活用・知財戦略について、新たな気づきを得られるものと考えております。ぜひ奮ってご参加ください。

開催内容

第1部 **13:40～14:40 (60分)**
「人工知能と自然言語処理の過去・現在・未来」
講師 国立大学法人 東海国立大学機構
名古屋大学大学院工学研究科 教授 **佐藤 理史 氏**

休憩 **14:40～14:50 (10分)**

第2部 **14:50～15:50 (60分)**
**「生成AIの導入によるマーケティングの
最新動向と今後」**
講師 国立大学法人 東海国立大学機構
名古屋大学大学院経済学研究科 准教授 **山口 景子 氏**

休憩 **15:50～16:00 (10分)**

第3部 **16:00～17:00 (60分)**
**「AI関連発明の出願登録状況及び
登録実例に学ぶ出願戦略」**
講師 日本弁理士会東海会副会長 弁理士 **垣見 茂樹**
講師 日本弁理士会東海会副会長 弁理士 **橋本 努**
講師 日本弁理士会東海会副会長 弁理士 **坂岡 範穂**

※ご質問等はそれぞれの講演・発表の終了後にお受けします。

知的財産(知財)権とは、特許権、実用新案権、意匠権及び商標権の総称である工業所有権(産業財産権)に著作権等を含めた権利の総称です。

【問い合わせ先】



TOKAI BRANCH OF JAPAN PATENT ATTORNEYS ASSOCIATION

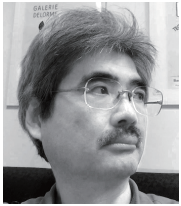
日本弁理士会 東海会

名古屋市中区栄2-10-19 名古屋商工会議所ビル8階
電話 052-211-3110 FAX 052-220-4005
http://www.jpaa-tokai.jp / E-mail: info-tokai@jpaa.or.jp

主催 日本弁理士会東海会 後援 中部経済産業局、愛知県、名古屋市、名古屋商工会議所、(一社)愛知県発明協会 (予定)

日本弁理士会東海会開設日記念「知的財産セミナー2024」

第1部 13:40~14:40 (60分) 「人工知能と自然言語処理の過去・現在・未来」



国立大学法人
東海国立大学機構
名古屋大学大学院
工学研究科 教授

講師/佐藤 理史 氏

略歴 1988年京都大学工学研究科博士後期課程電気工学第二研究指導認定退学。京都大学工学部助手、北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科助教授、京都大学大学院情報科学研究科助教授を経て、2005年より名古屋大学大学院工学研究科教授。博士(工学)。言語処理学会会長(2018-2019)。

内容 生成AIが大きな注目を集めている。本講演では、現在に至る人工知能および自然言語処理の歴史を概観した後、現在の言語生成AIの中核的技術である大規模言語モデルとその実現法であるニューラルネットワークモデルについて解説する。昨年発表されたchatGPTのどこが衝撃的だったのか、これまでと何が異なるのか、何が得意で何が苦手なのか。それらを踏まえ、現在、我々にどのような問いが突きつけられているのかについて議論する。

休憩 10分

第2部 14:50~15:50 (60分) 「生成AIの導入によるマーケティングの最新動向と今後」



国立大学法人
東海国立大学機構
名古屋大学大学院
経済学研究科 准教授

講師/山口 景子 氏

略歴 2006年より日系市場調査会社、米国マーケティングコンサルティングファームなど複数の企業にてマーケティングデータの解析業務に従事
2014年東京大学大学院経済学研究科修了(同年 博士(経済学)取得)
2017年東京理科大学経営学部講師を経て、2019年より現職

内容 マーケティングの目的は市場の創造です。そのプロセスは、新製品開発やプロモーション企画といった創造的側面をもつ活動によって支えられています。生成AIの発展めざましい昨今、企業は新技術の導入によるマーケティング活動の変革に大きな関心を寄せています。一方で、創造的側面をもつ活動が生み出す利益を保護するための仕組みは、この変化にどのように対応していくことが求められるでしょうか。国内外の生成AIの導入事例を概観した上で、この問いの端緒を議論していきます。

休憩 10分

第3部 16:00~17:00 (60分) 「AI関連発明の出願登録状況及び登録実例に学ぶ出願戦略」



日本弁理士会東海会
副会長
弁理士

講師/垣見 茂樹



日本弁理士会東海会
副会長
弁理士

講師/橋本 努



日本弁理士会東海会
副会長
弁理士

講師/坂岡 範穂

内容 AI関連発明の出願状況を紹介します。誰が、どのような技術分野の出願をしているか、日本を含む各国での出願状況を紹介します。また、どのような拒絶理由が通知され、その拒絶理由をどのように解消して登録されているかの審査状況及び登録状況を紹介します。さらに、登録された実例を紹介し、AI関連発明の出願のヒントを探ります。

※ご質問等はそれぞれの講演・発表の終了後にお受けします。 ※会場は室温調整が十分に出来ないこともありますので、衣服等で調整できるようにご準備下さい。
※ウイルス感染症流行等の事情により中止することがあります。中止の場合は弊会ホームページでご案内します。

申込方法
①下記申込用紙に所定の事項をご記入の上FAXでご送付下さい。
②ハガキ又は電子メールの場合は申込用紙と同じ所定事項をご記入の上、下記問い合わせ先へ先ずてご送付下さい。
③インターネットでのお申し込みは日本弁理士会東海会ホームページ上でご案内します。

申込み切
2024年1月19日(金)

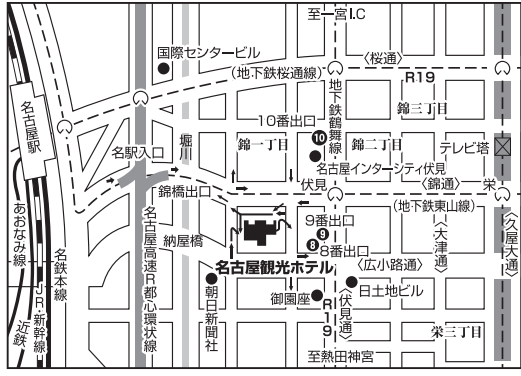
申し込み先(申込み先)
日本弁理士会東海会
〒460-0008 名古屋市中区栄2-10-19 名古屋商工会議所ビル8階
TEL052-211-3110 FAX052-220-4005
http://www.jpaa-tokai.jp/ E-mail:info-tokai@jpaa.or.jp

会場案内
名古屋観光ホテル
名古屋市中区錦一丁目19-30
電話052-231-7711

JR新幹線・在来線、近鉄線、名鉄線、あおなみ線「名古屋駅」下車
ホテルまでタクシーで約5分

地下鉄東山線・鶴舞線「伏見駅」下車、
⑧、⑨、⑩、出口より徒歩約2分

東名高速道路 名古屋ICより約30分
名古屋高速都心環状線 錦橋出口より1分



日本弁理士会東海会「知的財産セミナー2024」参加申込書

右記 □自宅宛 □会社宛 に入場券の 送付を希望	お申込み 代表者名	(役職)	(フリガナ)	同伴 参加者名	(役職)	(フリガナ)
	ご住所	〒	—		(役職)	(フリガナ)
	会社・団体名				(役職)	(フリガナ)
	電話番号			F A X	(部署)	
	メールアドレス					

※入場券をお送りしますので、必要事項は明確にご記入下さい。
※いただきました個人情報、本セミナーを円滑に実施するために必要な範囲に限り利用する他に、当会からのイベント情報の提供に利用させていただくことがあります。